

**近畿地方交通審議会
近畿船員部会議事録**

第195回

令和6年12月18日

日 時 令和6年12月18日(水) 16時30分から

場 所 近畿運輸局 会議室(船員部会室)

出席者 公益委員 横見委員、定岡委員、三輪委員、
安達委員

労働者委員 浦委員、佐藤委員、坂上委員

使用者委員 磯合委員、土屋委員、開委員(欠)

運 輸 局 岩佐海事振興部長、三浦海事振興部次長、
土本船員労政課長、矢野船員労政課専門官、
衣川船員労働環境・海技資格課長

議題1. 船員の特定最低賃金の改正に関する答申について

議題2. 管内の雇用等の状況について

議題3. その他

議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第195回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第194回船員部会」の議事録につきまして、ご承認をお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

次に議題1の「船員の特定最低賃金の改正に関する答申について」に入ります。

本議題に関しては、「近畿内航鋼船運航業及び木船運航業」「近畿海上旅客船運送業」および「近畿漁業（沖合底びき網）」の3業種について最低賃金専門部会を設置し、調査・審議をしていただきましたが、その結果について各専門部会からご報告いただいた上で、審議することとしたいと思います。

まず、「近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会」の部会長を務められました定岡委員からご報告いただきます。

定岡委員：

近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告します。

近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会は、11月13日及び12月16日の2回にわたり部会を開催しました。

その結果、近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金の改正については、職員及び部員ともに一律『10,000円』アップとし、「現在の、職員『261,500円』を『271,500円』に、ただし書きの職員『24

5,050円』を『255,050円』に、はしけ長『261,500円』を『271,500円』に、部員『202,750円』を『212,750円』に、ただし書きの部員『193,450円』を『203,450円』にそれぞれ改正することが適当である。」との結論に至りました。

以上、報告いたします。

横見部会長：

ありがとうございました。

次に、「近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会」ですが、こちらについては私が部会長を務めましたので報告いたします。

近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告します。

近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会は、11月27日及び12月5日の2回にわたり部会を開催しました。

その結果、近畿海上旅客運送業最低賃金の改正については、職員及び部員ともに一律『9,100円』アップとし、「現在の、職員『255,700円』を『264,800円』に、部員『194,300円』を『203,400円』に、それぞれ改正することが適当である」との結論に至りました。

以上、報告いたします。

横見部会長：

最後に、「近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会」ですが、こちらについても私が部会長を務めましたので報告いたします。

近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告します。

近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会は、10月18日に部会を開催しました。

その結果、近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金の改正については、『10,500円』アップとし、『209,500円』を『220,000円』に改正することが適当である。」との結論に至りました。

以上、報告いたします。

ただ今の各専門部会長の報告及び資料1の改正案につきまして、ご質問等はございますでしょうか。

特に無いようですので、「船員に関する特定最低賃金近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金、近畿海上旅客運送業最低賃金、近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金）の改正について」は

「最賃資料」の改正案1～3のとおり船員部会の結論としてよろしいでしょうか。

（異議なし）

横見部会長：

ありがとうございました。それでは、この改正案のとおり決定することとし、近畿地方交通審議会会長にご報告したいと存じます。
それでは事務局よりお願いいたします。

・海事振興部長挨拶

〔 岩佐海事振興部長 （挨拶） 〕

・最低賃金改正の今後のスケジュールについて

〔 三浦海事振興部次長 （説明） 〕

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、議題2の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

土本船員労政課長：

それでは「令和6年11月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

1. 職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、42人（前月比－50人、54.3%の減、前年同月比：－37人、46.8%の減）となっています。

月間有効求人数は、179人（前月比－8人、4.3%の減、前年同月比：－38人、17.5%の減）となっています。

②求職関係

新規求職者数は、5人（前月比－4人、44.4%の減、前年同月比：－4人、44.4%の減）となっています。

月間有効求職者数は、26人（前月比＋1人、4%の増、前年同月比－1人、3.7%の減）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、5人（前月比：＋3人、150%の増、前年同月比：＋2人、66.7%の増）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員1人、機関部職員1人、甲板部部員3人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

年齢別については、10歳代0人、20歳代2人、30歳代0人、40歳代0人、50歳代0人、60歳代2人、70歳代0人、80歳代1人となっています。

2. 新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員29人（甲板部19人、機関部10人、無線部0人、事務部0人）、部員13人（甲板部9人、機関部3人、無線部0人、事務部1人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員 2 人（甲板部 1 人、機関部 1 人、無線部 0 人、事務部 0 人）、部員 3 人（甲板部 3 人、機関部 0 人、無線部 0 人、事務部 0 人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が 1 人、定年退職 0 人、雇用期間満了 0 人、本人の申し出 2 人、自己の健康 0 人、倒産 0 人、就労中 2 人、不明 0 人となっています。

③新規求職者の年齢別

30 歳未満 2 人、30 歳代 0 人、40 歳代 0 人、50 歳代 0 人、60 歳以上 3 人となっています。50 歳以上は 3 人で占める割合は 60.0%、30 歳未満の占める割合は 40.0%です。

3. 失業等給付金支給状況

当月末の受給資格者数は 15 人で、基本手当の支払実人数は 3 人、給付件数は 3 件となっています。給付金額は 430,858 円です。前月は 2 人、給付件数は 2 件、給付金額は 330,623 円でした。

それから、高年齢求職者給付金が 0 件 0 円、再就職手当が 0 件、0 円、就業促進定着手当が 0 件 0 円よって、当月支給額計は、430,858 円となります。

4. 月間有効求人倍率の推移

11 月の近畿船員は 6.88 倍で、前月比 -0.6 ポイント、前年同月比、-1.16 ポイントとなっています。

5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は 179 人で、このうち、新規求人者数は 42 人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は 2 人、他局成立は 0 名でございました。

求人を取り消しは70人で、理由の内訳は有効期限切れ70人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ0人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は25人で、前月との差は-12人でした。

当局の紹介による求職側の成立は1人、他局成立は3人でした。

求職の取り消しは6人で、理由の内訳は期限切れ3人、自己応募・縁故により採用1人、自己都合により取り下げ2人、その他0人となっています。

6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①10月の全国の月間有効求人数は、3,186人で、前月比255人増の108.7%、前年同月比114人増の103.7%となっています。

②10月の全国の月間有効求職数は、636人で、前月比18人増の102.9%、前年同月比100人減の86.4%となっています。

③10月の全国の成立数は、48人で、前月比6人増の114.3%、前年同月比7人減の87.3%となっています。

④10月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により5.00倍となっています。10月の全国陸上は季節調整値により1.25倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

横見部会長：

ありがとうございます。

資料1、2、3についてご質問等ございますでしょうか。

佐藤委員：

資料2の8ページ、船種の「その他の商船」とはどのような船でしょうか。

土本船員労政課長：

京都の求職者は不明ですが、和歌山は「地質調査船」、「オフショア支援船」のようです。

横見部会長：

他いかがでしょうか。

無いようですので、それでは、次に議題3の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

三浦海事振興部次長：

資料4を説明申し上げます。

まず、令和6年10月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比98%となっております。

貨物船は 燃料（石炭、コークス）、紙・パルプ、雑貨が増加

原料、自動車、セメントは減少、

鉄鋼は、前年同月並み

油送船は 高圧液化以外の品目はすべて減少

品目によって前月から繰り越された貨物の輸送が見られたようです。

10月の貨物船の輸送量は、前年同月比98%、前月比101%となっております。

鉄鋼は 前年同月比100%で、台風や熱帯低気圧の発生の影響で前月から繰り越された貨物の輸送があったようですが、今月も断続的に荒天による輸送障害があり、次月に繰り越す貨物が見られたようです。

原料は 前年同月比94%、 金属鉱は大幅に増、石灰石、スラグ等が減少に転じた影響で原料全体としても減少となったようです。

燃料は 前年同月比106%、 前月に引き続き、コークスの輸送は低調のようですが、石炭の輸送は好調に推移したようです。

紙・パルプは 前年同月比103%、 紙は減少のようですが、木材、パルプは増加のようです。

雑貨は 前年同月比 109%、一般雑貨は、北海道航路の農産品（タマネギ、ジャガイモなど）が、昨年よりも作柄がよく好調な出荷がみられたようです。

自動車は 前年同月比95%、半導体不足の解消に伴い、これまで思うように車が作れなかった分、挽回(ばんかい)生産に取り組んでいるのもあり増加となっているようです。

セメントは 前年同月比 94%、低調な輸送が継続中のようです。

続きまして、油送船の輸送量ですが、前年同月比 97%で、前月比 105%となっています。

黒油（こくゆ）は 前年同月比 94%、不需要期に入ったこともあり、黒油の火力発電所需要は低調のようで、また、製油所装置の不具合による転送需要が継続中のようです。

白油（はくゆ）は 前年同月比 98%、冬季に向けた灯油の備蓄輸送が見られたようですが、一方で、黒油同様に製油所装置の不具合による転送需要に影響があり、ケミカル船で輸送をカバーしている状況のようです。

それでは3ページ以降、貨物ごとの状況です。10月の対前年比欄と、右側の対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼ですが、 前年同月比で 100.1%、対前月比は 100.5%
原料は、 前年同月比で 93.5%、前月比では 100.8%
燃料は、 前年同月比で 106.5%、前月比では 85.7%
紙・パルプは、前年同月比で 103.6%、前月比では 100.7%
雑貨は、 前年同月比で 108.6%、前月比では 103.8%
自動車は、 前年同月比で 95.4%、前月比では 101.0%
セメントは、 前年同月比で 94.0%、前月比では 108.6%

貨物船全体の輸送量は、1,771万9千トンで
前年同月比で 98.2%、対前月比では 100.7%となっています。

黒油（こくゆ）は、前年同月比で 93.9%、前月比では 103.0%
白油（はくゆ）は、前年同月比で 98.2%、前月比では 106.0%
ケミカルは、前年同月比で 98.0%、前月比では 107.0%
一般タンカーの輸送量は、753万4千トンで
前年同月比で 97.1%、対前月比では 105.3%となっています。

続きまして、

高圧液化は、前年同月比で 102.3%、前月比では 111.7%
高温液体は、前年同月比で 91.5%、前月比では 104.2%
耐腐食は、前年同月比で 92.8%、前月比では 92.8%
特タン船の輸送量は、93万2千トンで
前年同月比で 97.5%、対前月比では 103.0%となっており、
全てのタンカーの合計は、846万6千トンで
前年同月比で 97.1%、対前月比では 105.0%となっています。

次に資料5、令和6年10月における長距離フェリーの輸送実績でございます。

9月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずは「トラック」ですが、

北海道方面では、16,218台で、前月比 104.4%、前年同月比
115.0%

北九州方面では、37,728台で、前月比 106.3%、前年同月比
109.0%

中九州方面では、12,526台で、前月比 115.6%、前年同月比
112.8%

南九州方面では、11,910台で、前月比 95.9%、前年同月比 1
07.1%となっています。

次のページの「旅客」では、

北海道方面では、

17,925人で、前月比 73.6%、前年同月比 132.0%
北九州方面では、
89,215人で、前月比 114.4%、前年同月比 118.3%
中九州方面では、
36,030人で、前月比 120.1%、前年同月比 113.6%
南九州方面では、
23,501人で、前月比 96.8%、前年同月比 95.0%
となっています。

最後に、次のページの「乗用車」では、
北海道方面では、
6,080台で、前月比 79.2%、前年同月比 122.9%
北九州方面では、
27,014台で、前月比 110.8%、前年同月比 111.2%
中九州方面では、
5,364台で、前月比 124.7%、前年同月比 109.6%
南九州方面では、
7,839台で、前月比 100.1%、前年同月比 100.5%
となっています。

トラックは、南九州航路が、対前年比で下回っているものの、10月の過去の実績が最多のように見受けられます。

旅客については、南九州航路において対前月比、および対前年同月比ともに減少しており、北海道航路においては、例年同様、前月の旅客人数が多いことによる減と思われます。

乗用車については、北海道航路が「対前月」で減少しているようです。
その他の航路では増えているようです。

特に、北九州航路の旅客の全体的な伸びを感じます。

私からの説明・報告は以上です。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、資料4、5についてご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

よろしいでしょうか。

それでは、次に、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題について、ご意見や情報などございましたらご発言をお願いいたします。

では、まず労働者委員のほうから何かございますでしょうか。

佐藤委員：

12月3日に、和歌山港にあります南海フェリーのご協力を得まして、体験乗船を行いました。白浜第一小学校、白浜第二小学校の6年生34名を対象に、船をチャーターしてクルージングを行いまして、非常に天気も良く、体験乗船日和でした。船内では、ロープワークのイベントとか、エンジンルーム、ブリッジ、操縦室などの見学、そして子ども船長の出港号令などを体験していただき、非常にインパクトのある体験航海だったと考えております。当日は、近畿運輸局も来賓としてご挨拶いただきありがとうございました。怪我やトラブルもなく、無事に終了しまして何よりでした。以上、ご報告いたします。

横見部会長：

ありがとうございました。

ちなみに、小学生からの反応であったり、アンケートのようなフィードバックはいかがでしたか。

坂上委員：

アンケートは学校の先生にお願いしておりまして、第二小学校からしかまだ返信はないのですが、参加された生徒2名のうち1名の回答には、将来の

夢として航海士になりたいと書いてありました。今回初めての試みとして、子ども船長にもチャレンジしていただきまして、出港と入港の際に、制服を着てマイクを使ってブリッジで合図を行うといったことを体験してもらいました。おそらく回答してくれたのはその子かと思います。

浦委員：

今回はエンジンルームまで見せていただいて、非常に素晴らしいものになりました。

安達委員：

大学生向けの乗船とかは。

浦委員：

大学生となると趣旨が変わってくるので。乗船体験を記憶に残してもらって将来の職業選択で船乗りをえらんでもらうとなると、やはり、子どもや小学生のうちにとなってきます。

佐藤委員：

あと、12月13日に同じ白浜第一、第二小学校の5年生を対象とした出前講座をおこなっております。小学校の体育館をお借りして、5年生33名に向けて日本の船と貿易というテーマで、船の大切さを講義させていただきました。最後のフリートークの質問タイムの時に一番盛り上がったのは、やっぱり給料のことでした。「月々の給料、年収はいくらですか」とか、「保安庁と自衛官のどちらが給料高いですか」といった給料関係の質問が多くて、生徒だけでなく先生からも「転職しようかな」と言うほど興味を示してもらいました。他には、船に乗れば食事も提供されるということもあまり知られていないので、「船の中での料理はおいしいですか」といった質問もあり、非常に良かったと思います。引き続き継続していきたいなと考えています。

三輪委員：

今後は、同じ小学校だけでなく、別の小学校も順次回るといった計画はされますか。

佐藤委員：

どこを対象にするかとなると、教育委員会が協力、理解を示してくれることが必要で、そういった市町村で行うようにしています。特に、白浜町の教育委員会は非常に前向きで、「是非やってほしい」と言ってもらっています。大阪でも和歌山でもできるならやっていきたいです。

浦委員：

白浜は8年継続しています。

三輪委員：

継続することで理解も深まって活動も円滑に進むということですね。

横見部会長：

ありがとうございます。

他、労働者委員からいかがでしょうか。

横見部会長：

それでは、使用者委員の方からいかがでしょうか。

横見部会長：

そのほか、公益委員の方からいかがでしょうか。

横見部会長：

そのほか、事務局からいかがでしょうか。

横見部会長：

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は1月29日（水）16時00分からとなっておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

（配付資料）

最賃資料．船員の特定最低賃金の改正に関する答申について

資料1．令和6年11月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2．令和6年11月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料3．令和6年10月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料4．内航輸送実績状況（令和6年10月分まで）

資料5．長距離フェリー輸送実績の推移（令和6年10月まで）